

第19回動物臨床医学会年次大会

1998 (平成10年)

Proceedings, No.4, 動物病院スタッフセミナー
日本動物看護学会



動物臨床医学会
(財)鳥取県動物臨床医学研究所

後援：社団法人 鳥取県獣医師会

期日：平成10年11月21日(土)・22日(日)

会場：アジア太平洋トレードセンター(ATC)

(大阪市住之江区南港北2-1-10)

日本動物看護学会第7回大会に際して

日本動物看護学会
会長 今道友則

このたびの日本動物看護学会第7回大会は動物臨床医学会と共催で大阪で開かれることになりました。本学会は年2回の大会を当初には東京で開催しましたが、会員の要望を考慮して、昨年6月に第4回大会を大阪で初めて開催しました。一方、動物臨床医学会は毎年秋に大阪で盛大に開催され、その中で、動物看護学関係の集会もあるので、それと同時期に本学会の大阪大会を開けば、動物病院で実務についている動物看護師の方々にとっても有益であると考え、山根義久教授（東京農工大学）を介して動物臨床医学会理事会の同意を得て、第19回動物臨床医学会年次大会と同時期に、本学会の第7回大会を開催することが実現しました。また、翌日の動物臨床医学会の動物病院スタッフセミナーでは、3題の有意義な講演があります。

今大会では総ての演題を公募し、7題が発表されます。充実した発表と熱心な討論を期待します。

動物看護師の職務や動物看護に関連する問題には、最近、社会的関心が急激に高まりつつあります。本年9月にチェコで開催された「人と動物の関係に関する国際会議（第8回）」の参加者約800名のうち1/8の約100名が我が国からの参加者であったように、我が国で、伴侶動物の役割・ペットロス・アニマルセラピー或いは野生動物保護等の動物看護学に関連する問題の重要性が社会的に注目されてきました。また、動物看護学教育が大学でも行われる機運が高まりつつあります。

動物看護学の堅実な進歩発展をはかり動物看護学教育の充実・動物看護師の資質と地位の向上等のために本学会の役割は益々増大しています。お互いに心を引き締めて邁進したいと思えます。

日本動物看護学会要旨

- ・集合住宅における動物の飼育調査と飼い方
金 田 京 子 (アランとドロンの会)
- ・犬猫の採血時における保定の影響について
佐 藤 典 子 (フジタ動物病院)
- ・受付での AHT の役割
大 場 あゆみ (米子総合動物病院)
- ・入院患者の看護
和 田 由加子 (米子総合動物病院)
- ・救急処置時における VT の役割
泉 有 里 (西村動物病院)
- ・動物病院内でのエキゾチックアニマルの扱い方
中 俣 由紀子 (かしま動物病院)
- ・家庭犬しつけ教室における 1 症例
澤 田 雅 美 (みわしペットクリニック)

集合住宅における動物の飼育調査と飼い方

金田京子¹⁾ 宇田川 勇¹⁾
Kyoko KANEDA Isamu UDAGAWA

はじめに

私が住んでいるマンションは、東京・江戸川区の南方面で、ディズニーランドとは川をはさんでいます。江戸川区は南北に長く、南方面から北方面に行くのは、都心に出るより不便ですが、緑と三つの川（江戸川、中川、新中川）と海に囲まれた、豊かな自然と共生するところです。そのマンションには1324

世帯・約5000人が住み、7棟に分かれ、全て分譲で自治会も1つになっています。

ここでの動物飼育に関して、管理組規約では「人に迷惑をかける動物は飼ってはいけない」と謳っております。

今年、自治会の会員・非会員、すべての家にアンケートをお願いしました。回答のあった中での集計ですが、大変興味深い結果が得られました。

	自治会全住民アンケート調査集計							1998 2月
	1号棟	2号棟	3号棟	4号棟	5号棟	6号棟	7号棟	合計 (%)
総入居戸数	128	132	228	202	182	258	194	1324
自治会加入率	45%	71%	81%	83%	69%	76%	59%	71%
回収数および (%)	58 (45)	93 (70)	123 (54)	136 (67)	115 (63)	160 (62)	98 (51)	783 (59)
加入者および回収数に対する (%)	38 (66)	68 (73)	108 (88)	119 (88)	86 (75)	128 (80)	78 (80)	625 (80)
未加入者および回収数に対する (%)	19 (33)	22 (24)	12 (10)	13 (10)	22 (19)	29 (18)	20 (20)	137 (17)
不明者および回収数に対する (%)	1 (2)	3 (3)	3 (2)	4 (3)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	18 (2)
【問1】住まいと家族								
未就学児	14	10	1	15	13	8	13	74 (3)
小学生	9	11	11	19	21	21	23	115 (4)
中学生	8	6	19	16	21	12	14	86 (4)
15～30歳	49	83	23	161	103	124	76	619 (24)
31～50歳	65	67	113	104	110	105	82	646 (25)
51～65歳	35	103	111	142	94	163	86	734 (29)
66～75歳	11	11	109	26	9	35	21	222 (9)
76歳以上	3	6	17	11	11	13	5	66 (3)
合計	194	297	404	494	382	481	320	2572
1人家族	2	2	6	4	3	13	5	35 (4)
2人家族	13	27	25	21	11	39	24	160 (20)
3人家族	14	23	28	28	28	37	23	181 (23)
4人家族	18	32	46	53	54	40	33	276 (35)
5人家族	11	8	15	23	10	16	12	95 (12)
6人家族	0	1	2	5	0	5	1	14 (2)
7人家族	0	0	0	1	0	0	1	2
区分所有者	49	91	115	125	102	146	82	710 (91)
賃貸居住者	6	1	8	7	7	4	5	38 (5)

() 内は%

¹⁾ アランとドローンの会：〒120-0013 東京都足立区弘道2-18-8

① 総戸数…1324世帯

20年前にでき上がったのが6号棟、次に1・7号棟、翌年2・3号棟、最後に4・5号棟。

② 今回の回収率…59%

加入者の回収率…80%

未加入者の回収率…17%

③ 家族構成

51歳～76歳以上…40%

31歳～50歳…25%

15歳～30歳…24%

未就学児～中学生…11%

ここにあげた年齢は、親子関係が多くあげられます。未就学と小学生をあわせても7%の子供しかいません。4人家族が多く、ついで3人家族。これは、20年前には未就学・小学生の子供が多く、現在では既に成人している子供が多くなったということです。

住民アンケートの中には、いろいろな内容がありますが、その中でペット問題に関する集計があります。

【問11】 ペット問題	1号棟	2号棟	3号棟	4号棟	5号棟	6号棟	7号棟	合計 (%)
ペットを飼っている	18	20	27	33	32	39	25	194 (25)
飼っていない	38	63	91	96	76	117	61	542 (69)
猫	6	5	10	20	14	22	15	92
犬	5	3	7	5	3	6	4	33
犬・猫合計	11	8	17	25	17	28	19	125 (16)
小動物(ハムスター、リス、ウサギ)	4	6	4	5	12	3	2	36
熱帯魚、金魚、淡水魚	9	25	21	65	67	47	62	296
小鳥	3	2	7	6	11	5	3	37
亀	2	2	3	4	4	1	1	17
飼うのは反対	22	41	59	43	47	69	30	311 (40)
ルールを決めて飼わせる	25	28	44	62	45	61	40	305 (39)
その他	3	11	14	14	13	15	11	81 (10)

「その他」の中で多い意見は下表の通りです。

犬猫をエレベーターに乗せないで	11	犬猫と小動物は分けて考える	11	ペットの意義を見直す(効能と害)	4
ルールを守るのが大切	10	集合住宅では飼うべきでない	4	個人が飼い方をしっかりすれば良い	3
ペットは老人の心の支えだ	4	ルール作りに関する検討が必要	4	ルール違反の人への制裁違約金	3
小動物以外のペットにルールを	3	野良猫に餌を与えるな	4	ベランダで犬を洗うので衛生上悪い	2
アレルギーの人のことを考え	3	細心の注意で飼っている人はOK	4	隣のペットに悩まされている。早急に解決を	1
て	3	ルールを作っても守らない人は多い	3	猫が夜間侵入してきてけがをした	1

① ペットを飼っている…25%

ク 飼っていない…69%

ペットを飼っている・いないの号棟別に見ますと、その号棟によって世帯数が違いますので、号棟別入居数を参照して下さい。

② 飼うのは反対…40%

ルールを決めて…39%

そ の 他…10%

11%の方の回答がありませんが、「飼うのは反対」という人は、迷惑をかけられている人、もしくは

は過去にそのようなことがあった人。

特に号棟別に顕著に表れています。

③ 「飼うのは反対」が多い号棟…2・3号棟

犬の鳴き声、エレベーターに乗せるなどで迷惑をかけている飼主が多い。

④ 「ルールを決めて」が多い号棟…4号棟

4号棟は、1軒1軒が大変広く、2世帯住宅になっている。

現在飼っている方々のマナーが非常に悪く、飼っ

ていない人たちの心情を悪くしていると思われます。一人でもマナーの悪い人がいると、その号棟全体がペットを飼うことに反対になってしまいます。従って集合住宅での動物しつけが重要になってきます。

今現在、都市部において集合住宅（アパート、マンションを含む）に住む人は約70%にも上っています。このような集合住宅には、管理組規約があり、ペットの飼育は禁止が多く、容認されているところはまだ少数です。

一戸建てから集合住宅に移り住んだ時、住み方からして違い、ましてや動物飼育ともなればなおのこと大きな違いがあります。

集合住宅でどのようにして飼うと良いか

- ①トイレは室内で済ませる。
- ②エレベーターに乗ってよいか声をかける。
- ③エレベーターに乗った時、小型犬は抱く。
抱く事ができない場合は、壁側に犬をつけ人と人が並ぶように、または非常階段を利用する。
- ④犬種を選ぶ。年齢・家族構成・室内の広さを考える。
- ⑤避妊と去勢の実施。
- ⑥予防接種の実施。
- ⑦ベランダから他の家に行かないように網・フェンスを張る。

飼主にしつけの重要性を理解してもらうため、早急な対応

- ①保健所などの公的ところで定期的にしつけ教室

を開く。

- ②動物病院でも、動物看護師の方がしつけ教室を開く。

ま と め

以上、アンケートによる説明をいたしました。集合住宅において1人でもマナーの悪い飼主がいると、飼っている人全部が悪くみられます。アンケートの結果に表れましたとおり、1・7号棟は中・高年層が多いため、「ルールを決めて飼う」という意見に賛成が多い。5・6号棟も、熟年層が多くほぼ半数が「ルールを決めて飼う」ことに賛成している。4号棟は、一件の面積が広く、2世帯で住む経済力があるため、「ルールを決めて飼う」が過半数となっている。そして2号棟は若年層が他棟より多く、マナーの悪さが目立ち、飼うのに反対が大変多い。3号棟は特に、エレベーター内での排泄・鳴き声・大型犬の多頭飼育などなど、1軒でも問題を起こすと全体で飼育反対のろしが上がってしまうのが集合住宅です。全体では「飼うのは反対」が40%、「ルールを決めて」が39%とほぼ同数です。「ペットの意義を見直す」などの意見が出ています。海外では、多くの施設に犬を連れて入ることができます。日本では立ち入り禁止の札が、あちこちに立っています。全てマナーが悪いからです。幼児の時から教育で是非取り入れて、動物と共生できる世の中に早くなるよう、心がけてお願いします。

犬猫の採血時における保定の影響について

佐藤典子¹⁾ 大谷美紀¹⁾ 伊藤依子¹⁾ 成瀬育子¹⁾
 Noriko SATO Miki OTANI Yoriko ITO Ikuko NARUSE
 佐藤亜也子¹⁾ 秋元江就子¹⁾ 藤田理恵子¹⁾
 Ayako SATO Etsuko AKIMOTO Rieko FUJITA

動物病院では、動物の健康状態を把握するため血液検査をはじめ、尿検査、X線検査、心電図、エコーなど様々な検査が日常行われています。獣医師が適切な診断、治療を行うためには正確な検査結果が必要とされています。検査を行うには、動物を保定することが必要となりますが、どのような検査であるにせよ、患者である動物が興奮せず、リラックスした状態で行うことが前提とされます。私達AHTは検査助手として日常多くの動物を保定しておりますが、いかに短時間に動物に負担をかけずに検査できるか

ということも大切な仕事であります。

日常の検査の中で動物の安静時と興奮時ではデータに違いがみられることが多いと思われまます。そこで今回、血液検査の採血時において保定が検査データに及ぼす影響について着目し、若干の知見が得られましたので報告致します。対象とした動物は健康な犬と猫で、年齢、性別を問わず安静時と興奮時において採血を行い、その結果を比較致しました。比較した結果は表に示します。

	WBC	RBC	Hb	Plat	Na	K	Cl	Glu	TCho	BUN
犬	↑	↑	↑	→	↓	→	↑	→	↓	↑
猫	↑	↓	↓	↑	→	→	↓	↑	→	↑

	TBil	AST	ALT	ALP	Cre	Amy	TP	Ca
犬	→	↑	↑	↑	↑	→	↑	→
猫	→	↑	↑	↑	↑	→	→	→

	BE	pH	PCV	Lym	Mon	Eos	Band-N	Seg-N	体温
犬	↓	→	↑	↓	↓	↑	→	↑	↑
猫	↓	↓	→	↑	↑	→	↓	→	↑

↑：安静時に比べ興奮時に上昇

↓：安静時に比べ興奮時に低下

→：安静時と興奮時でほとんど変化なし

¹⁾ フジタ動物病院：〒362-0074 埼玉県上尾市春日1-2-53

このように安静時と興奮時でほとんどの項目においてデータに変化が認められました。そのうち、犬猫共に安静時に比べ興奮時にWBC、BUN、AST、ALT、ALP、Creおよび体温の上昇が認められました。

以上の結果より正確な検査結果を得るためには動物をリラックスさせた状態で、保定する方法を身に

つける必要があると思われました。保定は単に動物を押さえこむものではありません。力任せに押さえ込むことは動物を苦しめ、興奮させてしまうこととなります。また、動物の個体の大きさも様々であり、かつ性格も温厚な動物や攻撃的な動物もいます。さらに動物の病状の種類や程度も様々であるために、



複数のスタッフによる大型犬に対する保定



飼主に声をかけてもらいながらの保定



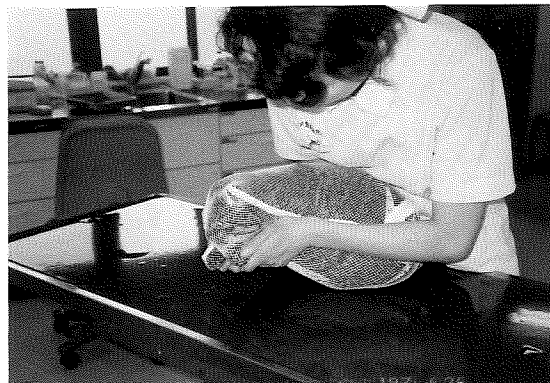
エリザベスカラーを使用した興奮しやすい犬に対する保定

動物を興奮させることにより症状をさらに悪化させてしまう可能性があります。したがって、検査を準備する段階で、すでに動物たちは何かされるという恐怖感を感じますので、保定する前から人間の子供に対するのと同様に名前を呼び、不安を和らげ、動物がリラックスした状態で採血することが必要であ

ると考えられました。保定力の加減に注意し、例えば抵抗した時は比較的強く支え、おとなしくしている時は無理な力を加えず体を支える程度にして、常に動物の動きに応じた保定ができるように日頃から動物の動きを体で覚えていくことが重要であると思われました。



タオルを使用した興奮しやすい猫に対する保定



ネットを使用した興奮しやすい猫に対する保定

受付けでのAHTの役割

大場 あゆみ¹⁾
Ayumi OHBA

はじめに

受付けは、病院の顔です。飼主が来院した時、また、電話の応答で病院の第一印象が決まるといってもいいでしょう。当院では、AHTが受付けを行っています。受付けをしながら診察の助手を行い、受付け中でも診察室の様子を気にしながら必要であれば診察の手伝いに入ります。受付けは、だれよりも細かく様々なところに気を配りながら、飼主さんとの対応をしていかななくてはなりません。

診察が忙しく飼主さんへの対応がおろそかになつては、病院の良い印象を与えることはできません。そこで普段、当院が受付けで気をつけていることを私の短い経験からですが報告したいと思います。

当院の受付けでのAHTの主な役割

- ◎電話の応答
- ◎来院者への対応
- ◎待合室のチェック
- ◎入院患者を預かる
- ◎会計
- ◎ワクチン証明書の発行

当院の受付けで心掛けること

- ◎あいさつ
- ◎笑顔
- ◎病院全体の流れ
- ◎身だしなみ
- ◎飼主とのコミュニケーション（対話）

忙しくなると自分のこなす仕事のことで精一杯になってしまいがちです。そうなると自分中心になり飼主さんを思いやる気持ちはどこかへいってしまいます。

常に飼主さんの望んでいることは何かを考え、病院全体の流れを見ながら今、自分がすべきことは何かを考え行動していくことが大切です。

どんなに忙しくても飼主さんに気を配れるAHTとして、信頼されるAHTとしてこれからもさらに自分を磨いていきたいと思っています。

飼主さんをよく理解してあげられるのは、他の誰でもなくその病院で働くAHTの皆さん一人一人しかいないのです。

飼主さんの良き理解者となり、スタッフからも信頼されるAHTを共に目指していきましょう。

¹⁾ 米子総合動物病院：〒683-0804 鳥取県米子市米原5-5-11

入院患畜の看護

和田由加子¹⁾
Yukako WADA

はじめに

「入院患畜の看護」はAHTの仕事の中では、非常に重要な部分を占めています。一般に「獣医師は医療、AHTは看護」といわれています。動物病院は入院患畜に医療を施す場所です。よって、AHTは看護を通じて、医療に携わることになるので、正しい知識と判断が必要になります。

ここでは、いろいろな場合の入院看護を想定してまとめてみました。

【一般的な看護】

- ①患畜の様子を観察する。
 - ②点滴されている患畜の点滴に異常がないか確認する。
 - ③分泌物や排泄物などに異常があれば獣医師に直ちに報告する。
 - a.出血部位や量を報告する。
 - b.嘔吐内容、回数、性状を報告する。
 - c.尿性状や臭い、色調、おおよその量を報告する。
 - d.糞便一硬さ・色・粘液質、血液、寄生虫の有無を報告する。
 - ④汚れたケージは全て消毒・清掃し、下にタオルやペットシーツを敷く（トイレは砂が必要であれば、置いておく）。
 - ⑤各ケージは必ず施錠する。
 - ⑥食餌の内容および量は獣医師と相談し決める。
 - ⑦与えた食餌と水の量の確認をする。
 - ⑧患畜が普通に食べるか、あるいは食餌に興味があるか、などをよく観察する。
飼主に食べ物や飲み物の好み、与える回数・時間帯を聞いておく。
 - ⑨獣医師に指示された薬を確実に投与する。
食餌に混ぜて投与した場合、食べ残しも確認する。
- ⑩室温に注意して、患畜の状態を考え、暑ければ冷房、寒ければ暖房を使用する（ヒーターを使用する場合、過温に注意する）。

【特殊な患畜】

1. 食欲不振の患畜

- ①犬で食欲不振の場合（特に人間の食べ物で飼育されている場合）、時として猫の缶詰を食べることがある。
- ②しばらく絶食していた猫などは、一口強制的に食餌を与えることで食欲が刺激されることがある。
- ③鼻がつまっている猫などは、温めた缶詰や匂いが強い食べ物を食べることがある。
- ④消化器系に問題がない場合、経鼻カテーテルも考える。

2. 寝たきりまたは老齢の患畜

- ①寝床に柔らかいマットなどを敷き、時間を決めて体位を変える。
- ②尿失禁などのある患畜は、こまめに敷物を換える。
- ③もし禁忌でなければ、定期的に脚の筋肉をマッサージし、筋肉への血液循環をよくする。
- ④排泄物による汚れをきれいにするため、ぬるま湯で洗浄する。（床ズレや皮膚にただれ・傷があれば、獣医師に報告する。）
- ⑤老齢の患畜の多くは、視力や聴力の障害があるので、それに適した世話をする。

3. 伝染病の患畜

- ①触った後は必ず消毒をする。
- ②下痢、嘔吐、排便、排尿があればこまめに床敷を換える。
（一般患畜と別のごみ袋を用意する。）
- ③伝染病なので、なるべく決まった人が責任を持つ

¹⁾ 米子総合動物病院：〒683-0804 鳥取県米子市米原5-5-11

て観察、看護する。

4. 手術後の患畜

- ①低体温になっているものは保温し、定期的に検温する。
- ②ケージに入れる場合は、常に表情がよく見えるように頭を入口に向ける。
- ③覚醒までの間、鼻孔・口をふさぐもの（毛布など）がないように注意し、誤嚥しないようによく観察する。

さらに、本院では入院ノートというものを使用しています。これは、入院している患畜の状態、および病名などを記入し、誰でもすぐわかるようにしたものです。これを使うことによって今までの経過の把握や、引継ぎをスムーズに行うことができます。

傷病患畜は一頭一頭違い、病状に応じて看護をしなければなりません。この他にもいろいろな方法があったり、病院によっては異なると思いますが、基本は同じです。

人と違い、言葉が話せないため、患畜の外見的な面だけでなく、内面的な部分も理解し、愛情を持って看護していく事が大切だと思います。

本日の内容と、さらに良質な看護法を自分なりに見つけ、努力していきたいと思います。

参 考 文 献

- ・動物看護ハンドブック（チクサン出版）
- ・実践AHTマニュアル講座（インターズー）
- ・入院動物のナーシングケア（インターズー）

救急処置時におけるVTの役割

泉 有里¹⁾

Yuri IZUMI

今回は救急処置時（特に心肺停止時の救急）におけるVTの役割ということでお話しさせていただきます。日常の診療において救急の疾患に遭遇することは多くありません。それだけに、日常慣れた診療と違い、いざというとき動揺して思うように動けなかったり、ミスしてしまったなどという経験はないでしょうか？

心肺蘇生（CPR）は時間との戦いです。呼吸停止から心臓が拍動し得る時間はおよそ10～15分、その間にいかに迅速で適切な処置が施せるかが勝負です。その様な緊急の場面で戸惑ってしまいチームワークを乱したりすることのない様、日頃より緊急時の対応についての知識を十分に習得し実践に生かせるようにトレーニングしておく必要があります。

これから、その準備と基本手順について少し詳しくお話ししていきます。まず、準備・心構えとして何が必要でしょうか。CPRの蘇生率はタイミング・人員・設備・備品・知識・熟練度によって大きく変化するとされています。

人員：緊急時にはどの程度の人員が必要か？またどのくらいの人員を確保できるのか？また、その人員でどうすれば能率良く治療できるか？

設備：必要な機材はそろっているか？（どこまでの設備が揃っているか）それは誰でもわかるところにあるか？すぐに使用できるところに設置しているのか？

備品：（設備と同じ）欠品はないか？

知識：主に使用する薬品などについてその名称（商品名・成分名）や使用方法、また、薬用量など把握しているか？それぞれの器械（ECGモニター他）の名称・使用目的・取り扱い

について理解しているか？

このような日常的な準備の不備はCPRの成功に大きく関わります。日頃から院内スタッフで話し合い、確認をしておく必要があるでしょう。

次に実際に急患が運ばれてきた場合です。その際、一番最初に飼主さんと接することになるのは私達VTです。まずはバイタルサイン（自発呼吸や意識の有無、その他）の確認を迅速に行い、緊急であることを獣医師や他のスタッフに知らせます。飼主さんは大切な家族の状態の変化にとっても動揺しています。そんな中、原因となる状況やそれからの状態について迅速に要領よく聴取し獣医師に伝えることが重要です。それと同時に少しでも飼主さんを落ち着かせ治療の経過を待っていただくようにしなければなりません。飼主さんは自分の家族がどうなってしまうのか不安でいろんな事を聞いてきますが、心配させまいと何でも言ってしまうこと。その時の言葉が後でトラブルの火種になるかもしれないからです。「今みんなで一生懸命○○ちゃんを助けようと頑張っていますから、もう少し待って下さい。」などという言葉にとどめ、その生死についての明言は避けた方がいいでしょう。

さて、その間にも他のスタッフによってCPRは始まっています。CPRの手順としてABC法を行います。

A：気道の確保（Air way）

気管内チューブなどにより気道を確保します。

B：換気（Breathing）

人工呼吸などにより呼吸を再開させます。

C：循環（Circulation）

心マッサージなどにより血液循環を確保します。

D：薬物（Drugs）

心拍再開・不整脈の是正など生体改善のため

¹⁾ 西村動物病院：〒813-0032 福岡県福岡市東区土井1丁目21-11

処置をします。

E：心電図モニター（ECG）

F：輸液（Fluid）

次に、当院での実際をスライドを見ながらご紹介します。

当院には現在2名の獣医師と3名のVTがおります。緊急時には受付のVT1名を残し4名が取りかかります。まず、緊急とわかったと同時にそのスタッフは大きな声で他のスタッフに知らせます。先に1名は処置室に急ぎ気管内挿管・血管確保・ECGモニターの装着などの用意に入ります。動物が運ばれてきたら挿管します。もちろん、場合によってはVTが挿管を行う事もあります。できるだけ早い挿管が必要なので少し小さめの気管内チューブを用いても急ぎ行うことが大事です。挿管が完了したらすぐに人工呼吸を始めます。当院では人工呼吸器を使用しています。他の1名は心マッサージに入っています。手の空いた獣医師が血管確保を行うと同時に、VTはECGモニターの装着を行っています。VTの一人は薬物担当

に入っています。救急時に使用する薬品はたくさんありますが、基本的に使用される幾つかの薬品は直ちに使用できるようセットしてあります。またその使用量に関しては誰でも難しい計算なしに大体の量を把握できるよう、計算式や希釈量を設定してあります。以上のような事を呼吸停止よりおよそ15分ほどの間に行っていくわけです。ただし、上記は基本的処置であって、例えば、交通事故で肋骨骨折のある場合は心マッサージは慎重に行わなければならないし、肺水腫などの緊急では通常の用意の他にサクシオンなども必要になるでしょう。そんな場合に使用する器具、薬品、使用方法などについても十分理解し、対応できるようにしておかなければなりません。時間との戦いとなる緊急時において、普段から準備を怠らないこと、また状況を判断するために正常をきちんと知っておくこと、その上でその時々に応じて獣医師の指示に柔軟に、正確に従い行動できること、そのためにも日頃の訓練はとても重要だと感じます。

動物病院内でのエキゾチックアニマルの扱い方

中俣由紀子¹⁾

Yukiko NAKAMATA

はじめに

動物に苦痛を与えずに治療の補助をするということは、当然のことですが、なかなか思う通りにできません。この仕事についてから、初めての試練としてぶつかった人も多いと思います。

最近では、犬、猫以外にもエキゾチックアニマルと呼ばれる動物達が、さらに私達の手をやかせてくれます。

そこで私は今回、来院数の多いフェレット、ウサギ、ハムスターについて、私の病院で行っている処置時の保定法や入院時の注意点など、簡単ですが報告させて頂きたいと思います。

主な来院の理由

- ・フェレット：ワクチン接種／フィラリアの予防／歯髄炎／インフルエンザ／異物混入／避妊／去勢
- ・ウサギ：下痢／爪切り／不正咬合
- ・ハムスター：腫瘍／下痢／不慮の事故

上記の来院が多いため、これらに対応できるような保定法を紹介致します。

動物看護師の役割

- ・受付：動物の種類を把握する。
- ・稟告：小さい動物達なので、順番待ちが手遅れになることもある。
- ・助手：保定など。
- ・飼育指導：衝動買いをする人が多いため、必要なことだけを伝える。などを行います。

おわりに

犬や猫など一般的な動物は、扱い慣れているということもありますが、エキゾチックアニマルはまだ好き嫌いも含め浸透していないことがあるので、習慣、行動を知らない人も多いと思います。そして声を出し表現するということがあまりないため、見落としてしまうことも看護する上でないとはいえませんが、私の報告は足りないこともあると思いますが、少しでもエキゾチックアニマルのことも知ってもらい、仕事に役立ててもらえたらという気持ちでお伝えします。これから先も、自分なりに努力していきたいと思います。

¹⁾ かしま動物病院：〒314-0033 鹿嶋市鉢形台1-1-5

家庭犬しつけ教室における1症例

澤田 雅美¹⁾

Masami SAWADA

はじめに

近年動物病院に寄せられる飼主さんからの質問は多様化しつつあります。問題行動に対するものも最近では決してめずらしいものではなく、日々時間に追われる獣医師の先生方を悩ませることも少なくありません。確かに問題行動を取り扱うためには専門の知識もさることながら、時間に対しての感覚を鈍らせることが必要です。時間をかけてじっくり飼主さんの話を聞く、これを避けては解決の糸口も見つかりません。私たち看護師がその分野において、先生方の片腕になれたなら、それはきっと病院のイメージアップにつながり、飼主さんからの信頼も得られます。

今回は、問題行動のカウンセリングを通じて、一人の看護師と飼主さんの気持ちのやりとりを考察します。もちろん、カウンセリングの進行、および実際に行われたいろいろな方法についての考察も、報告したいと思います。

プロフィール

渡辺びんご、ミニチュアダックスフンド、1997年6月生雄、問診時未去勢。

相談内容

最近無駄吠えがひどくなる。

部屋の中でのトイレが決まらない。

車の中から見える男性、子供、犬に対して吠えつく。

最初の状態

体罰、甘やかしなどによるアルファ化、社会化不足による外界への過敏反応、さらにそれらを力で抑えようとすることによる悪循環がみられた。

カウンセリング

最初の2時間は飼主さんだけで来てもらい、飼主さんとびんごの生活パターンなどをできるだけ詳しく聞いた。さらに、ヒトがリーダーになるということ、犬とのコミュニケーションの取り方、社会化など犬と接する上での基本的なことを十分時間をかけて理解してもらった。

その後5回の実技(1~2週間に1回)の中で、ほめ方、しかり方、アイコンタクト、おすわり、ふせ、まてなどの基本的なことからはじめ、一つ一つが出来たところで、これらを徐々に組み合わせ複雑にし、飼主さんがびんごにとってのリーダーとなれるようにプログラムを組んだ。毎回実技の中でびんごの状態を観察し、発生した問題に関してはその都度直接飼主さんに解決法を示した。すぐに解決しない問題は、宿題として自宅でも対処法を繰り返すように指示した。

基本的なしつけの方法と平行して、相談内容の直接的な対処法としては、ジェントルリーダー、クレートトレーニング、アポアストップ、ビターアップル、レモン水を使った罰を根気よく行った。また、これらの問題行動に対して、なぜ犬がこのようなことを起こしてしまうのかを飼主さんに理解してもらい、発想の転換の必要性も教えた。

結 果

途中飼主さんから、うまくいかないことで、泣きながら電話がかかってきたこともあったが、時間をかけて話し合い、勇気づけることによってレッスンを続けてもらった。その結果、基本的なしつけのプログラムで飼主さんは犬に対する接し方を理解し、

¹⁾ みわしペットクリニック：〒486-0914 愛知県春日井市若草通り5-155-2

犬は飼主をリーダーとみなすように変化した。また、それをふまえた上でクレートトレーニングを行いトイレの問題も解決した。吠える問題は、完全に吠えなくなったわけではないが、十分に飼主さんが許容できる範囲まで減少し、落ち着いた生活が送れるようになった。

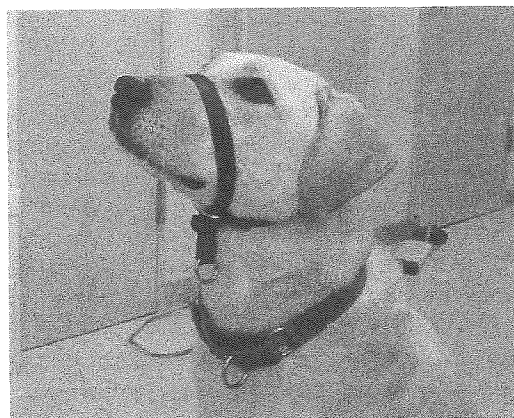
考 察

犬の問題行動は直接犬に対する対処も大切だが、

それ以上に飼主を勇気づけ、根気よく続けさせることが必要である。それにはカウンセリングを行う側も根気よくつきあうことが重要で、骨の折れることである。しかし、それを乗り越えると、犬の問題で苛々していた飼主さんの生活も安定し、問題がこじれて犬を手放さなくてはいけなくなるといった最悪の事態も避けることができる。さらに犬を含む3者間でのしっかりとした信頼関係が、とっておきのおまけとしてついてくることも見逃せない。



渡辺びんご



ジェントルリーダー



ビターアップル



点眼ビンとレモン果汁

第7回大会開催のお知らせ

(動物臨床医学会スタッフセミナーと併催)

●11月21日(土) 10:00～12:00

[一般演題]

- ・集合住宅における動物の飼育調査と飼い方 ----- 金尾京子(アランドロン商会)
- ・犬猫の採血時における保定の影響について ----- 佐藤典子(フジタ動物病院)
- ・受付でのAHTの役割 ----- 大場あゆみ(米子総合動物病院)
- ・入院患者の看護 ----- 和田由加子(米子総合動物病院)
- ・救急処置時におけるVTの役割 ----- 泉 有皇(西村動物病院)
- ・動物病院内でのエキゾチックアニマルの扱い方 ----- 中俣由紀子(かしま動物病院)
- ・家庭犬しつけ教室における考察 ----- 澤田雅美(みわしべつクリニック)

(一般演題終了後に総会を行います)

●11月22日(日) 10:45～17:15

[動物病院スタッフセミナー]

- ・13:30本会理事、小杉正太郎先生(早稲田大学文学部心理学科教授)
特別講演 「ペットロスと飼主のメンタルケア-心理学的考察」

開催日: 98/11/21,22 (土日)

参加費 一日 5,000 円、両日 10,000 円

場所: アジア太平洋トレードセンター (ATCホール)
(大阪市住之江区南港北 2-1-10)

問い合わせ先: TEL 0358-26-0851

動物臨床医学会

〒682-0025 鳥取県倉吉市八屋214-10

例
会
案
内

日本動物看護学会第4回例会

場所: 新潟テルサ 日時: 11月15日(日曜) PM12:00より
内容: 「獣医師・動物看護士のための動物行動学入門」
講師: 尾形庭子(動物行動クリニック・フマウ)
桜井 富士朗(桜井動物病院)
岡谷 一夫(千葉大学)
連絡先: 宮川動物病院 Tel025-245-3411